

介護ロボット等導入効果報告書(令和元年度)

法人名	社会福祉法人 鈴鹿福祉会
事業所等名	特別養護老人ホーム (介護老人福祉施設) 鈴鹿グリーンホーム
記入者職	ひのきユニットリーダー

介護ロボット・機器の製品名	非装着型移乗支援ロボット i-PAL
事業実施期間	平成31年 4月 1日 ~ 令和2年 3月 6日
事業実績 (実施回数、参加者数等)	<p>【目標】 介護者と被介護者の身体的負担の軽減</p> <p>【(事業実施期間内の)実績： i-PALを使用した、いちよう・ひのき・かえでユニット職員計16名】</p> <p>★期間中の離職率：0%</p>
使用場面	<p>令和元年度の使用場面は、</p> <p>① i-PAL導入に伴い、介護者と被介護者の身体的負担の軽減や、介護者の腰痛を予防する。</p> <p>② i-PALの活用を地域に発信する。</p> <p>★ベッドへの移乗やトイレ (ポータブルトイレ) への移乗介助時に使用</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p>・ご利用者の負担感も軽減されている様子でした。</p>
目標達成度・効果	<p>① i-PAL導入に伴い、介護者と被介護者の身体的負担の軽減や、介護者の腰痛を予防できた。</p> <p>・効果としては、介護者の腰痛を予防することができ、被介護者も身体的な負担を軽減することができました。</p> <p>② i-PALの活用を地域に発信しました。</p> <div style="text-align: center;">  <p>IoT化 (モノとモノがつながる)</p> <p>ボット・介護機器 (9タイプ)</p> <p><small>※その他、車いす式浴槽・寝台式浴槽・機械式個浴などを活用しています</small></p> </div> <p>・事業所見学时やホームページ等に掲載しi-PALの活用を地域に発信することができました。</p> <p>③今後の課題について</p> <p>・使用対象者が限定されることがある。</p> <p>・小回りがあまり利かないため、使用できるスペースが必要。</p>